

論説文の読解（都市・学び）

P. 8 / 9

標準

古文の読解

P. 23

標準

解答

解答

○解説 ○

(1) 例 食事は椅子だけでなく床に座つて食べることもある
〔風呂は木の浴槽で暗くて少し怖いこともある（順不同）〕

(2) ○表現力 あなたの言葉で答へよう
例 幼いころ、ストーブでやけどをした弟は、ストーブは危険だと学び、それ以来しばらく近づかなかつた。

(3) ○解説 ○

(1) 例 一人の赤ん坊の例を述べている段落をすべてとらえる。〔6〕段落は、〔5〕段落までの体験からその子が「知識」をつくりあげる例を述べているのであってはまるが、〔7〕段落は、具体例ではなく筆者の見解を述べているのであってはまらない。
A 前の「とまどつたこと」の例をあとで挙げていることから考える。

(2) 例 一般的に「知識」とは、高いレベルのものだと考えられがちだが、ここで例のように赤ん坊が体験から得ていくものも、筆者は「知識」と説明したかったので、「—」をつけたのである。

(3) 文章中にある「この子」が体験したことは、「食事」「風呂」「猫」であることを押さえ、そのうち「猫」の体験は、はじめての体験から新しい「知識」をつくりだした例なので、――線②をつくりだした例とは区別されることに注意する。

(4) 直前の文に「学び」が深いほど、感動が大きい」とあることを押さえ、「学び」と「感動」を関連づけて述べた部分のある〔9〕段落からとらえて、まとめる。
〔8〕段落に「これを『学ぶ』といつていいのだ」とあることをとらえる。〔9〕段落からは「学び」の意味を理解した上で内容に話題が変わっている。

(5) 工の内容は、文章全体と〔4〕段落で述べていることと合っている。

○解説 ○

2 (2) 例 小猿二匹に痛い頭をもんでもらい、気持ちがよかつたという夢。
〔頭痛を治すという柏原明神にお参りしてもらったおかげで、神の使いが来ていやしてくれたから。〕

(3) ○表現力 あなたの言葉で答へよう
例 「思はず眠りしに」と「頭痛全快して目覚める頃」の間のでき」とを読み取つてまとめる。
〔4〕代わりに参詣に行った男は、社殿の前にたくさんの猿の絵が掲げられていたことと、頭痛に悩んでいた男の猿の夢とを結びつけて考えたのである。